

【1.1 実証事業の目的】

記述内容 ・ 公募要領に記載されている内容を踏まえて設定された実証事業の目的を記載する

✓ 実証事業の目的

- ・ 公募要領に記載されている内容を踏まえて設定された実証事業の目的を記載すること

【1.2 実証事業の内容】

記述内容 ・ 実証事業の内容を記載する

✓ 実証事業の内容

- ・ 実証事業の内容を記載すること

注意)

事業内容が以下の4項目のいずれかに該当する事業であること。

- ・ 県単位で実施する事業
- ・ 市町村単位で実施する事業
- ・ 企業健保と連携して実施する事業
- ・ 厚生労働省および総務省と連携して行う事業

【1.3 健康情報基盤を活用した健康サービスの内容】

記述内容 ・ 健康情報基盤を活用した健康サービスの内容を記載する

- ✓ 健康情報基盤を活用した健康サービス
 - ・ 健康情報活用基盤を構築し、当該基盤を用いた健康サービスモデルを実証することを提案・記載すること
 - ・ 健康情報活用基盤を活用した健康サービスの内容(健康増進、疾病予防、疾病管理、医療サービス、高齢者向けサービス、乳幼児向けサービス等)とその実現方法を提案・記載すること
 - ・ サービスの提供目的を記載すること
 - ・ サービスの特徴(内容や参加者の特徴など)を記載すること

注意)

実証事業においては、課金することができません

【1.4 実証すべき事項】

記述内容 ・ 実証すべき事項を記載する

✓ 検証事項と検証方法

- ・ 本事業により実証すべき事項を記載すること
- ・ 実証の結果として期待される成果を記載すること
- ・ 実証の成果について今後の健康情報活用基盤構築・活用への活かし方を記載すること

(該当する場合のみ)

【1.5 厚生労働省・総務省と連携する際のコンソーシアムの役割】

記述内容 ・ 厚生労働省・総務省と連携する場合には、コンソーシアムの役割を記載する

- ✓ 厚生労働省・総務省と連携する際のコンソーシアムの役割
 - ・ 厚生労働省・総務省と連携する旨を記載すること
 - ・ コンソーシアムの役割を記載すること

【1.6 事業の継続性・発展性と展開可能性】

記述内容 ・ 実証する事業の継続性・発展性と展開可能性について記載する

- ✓ 事業の継続性・発展性と展開可能性
 - ・ 実証する事業の継続性・発展性や、その他の事業への展開可能性について記載すること

【1.7 消費者・個人情報保護の考え方・保護の方法】

記述内容 ・ 実証事業における消費者・個人情報保護の考え方と、それに基づく保護の方法を記載する

✓ 消費者・個人情報保護の考え方・保護の方法

- ・ 実証事業における消費者・個人情報保護の考え方および保護するための方法を記載すること

注意)

消費者・個人情報保護の方法は、利用者の利便性を考慮した方法であること

【2.1 対象地域、参加予定者、参加予定者数、参加者を集める方法】

記述内容 ・ 対象地域、参加予定者、参加予定者数、参加者を集める方法を記載する

- ✓ 対象地域、参加予定者、参加予定者数、参加者を集める方法
 - ・ 実証事業の「対象地域」「参加予定者(団体・地域・年齢・性別など)」「参加予定者数」「参加者を集める方法」を記載すること

【2.2 健康情報活用基盤の全体構成】

記述内容 ・ 健康情報活用基盤の全体構成を記載する

- ✓ 健康情報活用基盤の全体構成
 - ・ 健康情報活用基盤の全体構成と構築方法(新規構築/既存改修等)を記載すること

【2.3 情報の内容、収集元、収集方法】

記述内容 ・ 情報の内容、収集元、収集方法を記載する

- ✓ 情報の内容、収集元、収集方法
 - ・ 使用する健康情報の内容(データ名など)・収集元(機関名など)・収集方法(情報取得媒体等を含む)を記載すること

【2.4 情報収集の関係者との協業確度】

記述内容 ・ 情報収集の関係者との協業確度を記載する

- ✓ 情報収集の関係者との協業確度
 - ・ 情報収集の関係者との協業確度を記載すること(調整済み、調整中、今後調整予定など)

【2.5 収集情報の運用方法】

記述内容 ・ 収集情報の運用方法を記載する

- ✓ 収集情報の管理方法
 - ・ 健康情報活用基盤を用いた情報の運用方法(運用主体、手順など)を記載すること

【2.6 健康情報活用基盤のデータ標準化の方法】

記述内容 ・ 健康情報活用基盤のデータ標準化の方法を記載する

✓ 健康情報活用基盤のデータ標準化の方法

- ・ 健康情報活用基盤で情報を蓄積・提供する際のデータ形式や交換規約など標準化について、考え方および実現方法を記載すること

【2.7 情報の活用方法】

記述内容 ・ 情報の活用方法を記載する

✓ 情報の活用方法

- ・ 健康情報を健康サービス事業者や参加者へ提供する方法を記載すること
- ・ 健康サービス事業者による健康情報の活用方法を記載すること
- ・ 参加者や健康サービス事業者が健康情報活用基盤へアクセスする際の仕組み(アクセス方法、認証方法など)を記載すること

【2.8 健康情報活用基盤のセキュリティ確保の方法】

記述内容 ・ 健康情報活用基盤のセキュリティ確保の方法を記載する

✓ 健康情報活用基盤のセキュリティ確保の方法

- ・ 実証事業におけるセキュリティの考え方および確保の方法を記載すること

注意)

セキュリティ確保の方法(個人認証など)は、利用者の利便性を考慮した方法であること

【2.9 ポータビリティを確保するための方法】

記述内容 ・ 実証事業間でポータビリティを確保するための方法を記載する

- ✓ ポータビリティを確保するための方法
 - ・ 各実証事業間のデータのポータビリティを確保する方法を記載すること

【2.10 健康サービス事業者の参入を容易にする工夫】

記述内容 ・ 健康サービス事業者の参入を容易にする工夫を提案・記載する

- ✓ 健康サービス事業者の参入を容易にする工夫
 - ・ 健康情報活用基盤の構築にあたり、汎用性の高い技術を活用するなど、他の健康サービス事業者の参入を容易にする工夫を記載すること

【3.1 コンソーシアムの体制・役割】

記述内容 ・コンソーシアムの体制・役割を記載する

✓ コンソーシアムの体制・役割

- ・ コンソーシアム内の役割・体制を記載すること
- ・ 代表団体の財務諸表を記載すること
- ・ 公募要領に記載のあるとおりに団体が資格を有しており、各種代表者が定義されていることを記載すること
- ・ 経済産業省又は他省庁等に係る類似性の高い事業を実施中又は予定している場合について、提案プロジェクトとの役割分担や仕分けを応募書類に明確に記載すること

注意)

- ・既に経済産業省又は他省庁等の平成20年度の補助事業等による採択を受けておらず、採択も決定していないこと(提案書への記載は不要)
- ・同一の者が代表団体として2件以上申請していないこと(提案書への記載は不要)

代表団体: XX株式会社
事業統括責任者: XXXX
事務管理責任者: XXXX

記述例

参加団体: XX株式会社
責任者: XXXX

参加団体: XX株式会社
責任者: XXXX

参加団体: XX株式会社
責任者: XXXX

関係事業者(例)		役割
代表団体	XXXX株式会社	XXXXXXXX
参加団体	XXXX株式会社	XXXXXXXX
.....		

【3.2 各WGとの連携】

記述内容 ・ 各WGとの連携の仕方を記載する

- ✓ 各WGとの連携
 - ・ 総括事業代表者は運用・普及WGへ参加することを記載すること
 - ・ 技術責任者は技術・標準WGへ参加することを記載すること
 - ・ 技術・標準WGおよび運用・普及WGでの決定事項に従って実証事業を行うことを記載すること

【3.3 実証事業のスケジュール】

記述内容 ・ 実証事業の開始から終了までのスケジュールを記載する

✓ スケジュール

- ・ 実証事業の開始から終了までのスケジュールを記載すること

注意)

- ・ 最長でも平成23年2月28日までに完了するスケジュールであること

記述例

作業ID	作業項目	作業内容	担当	開始日	終了日	作成資料	HXX年度													
							HXX年 (XXXX年)													
							4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30		
100	XXXXXXXX																			
110	XXXXX																			
111	XXXXXX	XXXXXXXX	XXXX	XXXX/XX/XX	XXXX/XX/XX	XXXXXXXX		■	■											
112	XXXXXX	XXXXXXXX	XXXX	XXXX/XX/XX	XXXX/XX/XX	XXXXXXXX				■										
113	XXXXXX	XXXXXXXX	XXXX	XXXX/XX/XX	XXXX/XX/XX	XXXXXXXX					■									
120	XXXXX																			
121	XXXXXX	XXXXXXXX	XXXX	XXXX/XX/XX	XXXX/XX/XX	XXXXXXXX				■										
122	XXXXXX	XXXXXXXX	XXXX	XXXX/XX/XX	XXXX/XX/XX	XXXXXXXX					■	■								
123	XXXXXX	XXXXXXXX	XXXX	XXXX/XX/XX	XXXX/XX/XX	XXXXXXXX						■	■							
124	XXXXXX	XXXXXXXX	XXXX	XXXX/XX/XX	XXXX/XX/XX	XXXXXXXX								■	■					

【提案事項】

XXXXXXXX

【3.4 事業費】

記述内容 ・ 実証事業に必要な事業費を記載する

✓ 事業費

- ・ 事業終了までの事業費の見積もりについて、各年度および事業期間の合計で積算・内訳を記載すること
- ・ 事業を業務(作業)単位に分類し、その工数見積りを記載すること

参考)

1件あたり: 1億～3億円程度 (平成20年度:0.2億～0.6億円程度、平成21年度:0.4億～1.2億円程度、平成22年度:0.4億～1.2億円程度)

全事業合計: 7億円 (平成20年度:1.4億円程度、平成21年度:2.9億円程度、平成22年度:2.7億円程度)

(全て税込み額)

記述例

業務項目				実証事業終了までの担当者のクラス別総工数(人時間)				工数 (業務中項目単位)
ID	大項目	ID	中間項目	XXXX	XXXX	XXXX	XXXX	
1	△△△に係るもの							
		(1)	XXXX
		(2)	XXXX
2	○○○に係るもの							
		(1)
		(2)
	
			合計(工数)

提案書(様式1) 作成にあたっての留意点

- A4サイズ用紙、横置き、Microsoft Powerpointを使用し、50頁以内(表紙、仕切り、および各様式の資料は除く)で作成して下さい。なお、頁数には含めませんが、表紙、仕切り、各様式の資料を提案書につけてください。
- 「資料2 様式2 要約版提案書」はA3サイズ用紙3枚以内で作成してください。
- 形式審査/内容審査の審査項目については、「公募要領」ならびに「資料1 審査項目一覧」を参照してください。
- 第三者が読んで内容が把握できるレベルでの表現を心がけて下さい。